

ぐんぐん学習だよ！ No. 2

R1. 12. 25



宇都宮市立城山中央小学校 学習指導部

自主学習にチャレンジ！

基礎・基本の学力は、これからの社会で活用していくための基盤となります。確かな学力を身に付けるためには授業はもちろんのこと、家庭で復習をし、繰り返し学習したことを積み重ねていくことが大切になってきます。特に高学年になると、学習量が増えるだけでなく、学習内容も難しくなります。高学年では、30分程度の自主学習の課題も宿題として出されています。自分で苦手な課題に挑戦したり、学習したことをまとめたりするなど、方法は様々なので、自分に合った方法で取り組ませてみてください。学んだことが確実に身に付くようご家庭でのご支援をお願いします。

Step1 集中して宿題に取り組もう！

学習時間は、低学年20分 中学年40分 高学年60分が目安です。そのうち、高学年は20～30分程度の自主学習を毎日継続しています。

- 子どもの集中力を育むために —
- ・時間と場所を決めて学習してみよう。
- ・ストップウォッチやタイマーなどを使って時間を計ってみよう。
- ・学習時間を記録してみよう。(スタンダードダイアリー、家庭学習カード等)

Step2 分からないところは調べよう！聞いてみよう！確認しよう！

ドリルやプリントなどの学習は、

- ①まずは、自力でやってみよう。
- ②分からないところは、教科書やノート等で調べてみよう。
- ③おうちの人に確認してもらおう。

根気強く学習に取り組むことができるよう、お子様への励ましもお願いします。

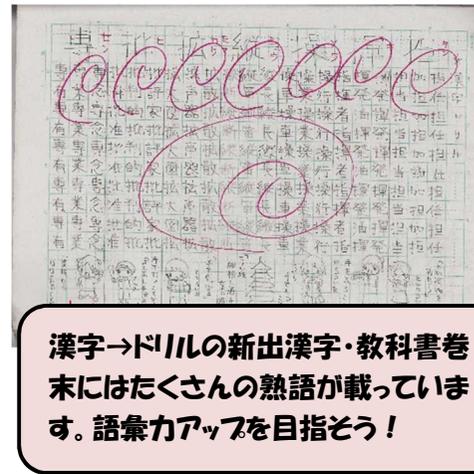
Step3 自学(自主学習)をしよう！

- 低学年では、まとめ方が難しいので、まずは、「ていねいに」「繰り返し」学習していくことが大切です。
 - ・ひらがな、カタカナ、漢字など正しく覚えられるよう何度も練習していく。
 - ・音読も大切です。大きな声ですらすらと、句読点、登場人物の気持ちを意識して読んでみよう。
 - ・計算ドリル、たし算・ひき算・九九カード等、反復して練習する。
- 中学年では、繰り返し学習を基本に、少しずつ学習のまとめができるようにしていこう。
- 高学年では、「まとめノートづくり」をすることを目標にしていこう。ただ問題を解いたり、反復練習をしたりするのではなく、学習のまとめやポイントを整理し、その日の学習の振り返りや復習ができるようにしよう。

4月にお配りした「家庭学習ガイド」には、自主学習の内容について詳しく書かれていますので、お子様に取り組ませる際に活用してください。

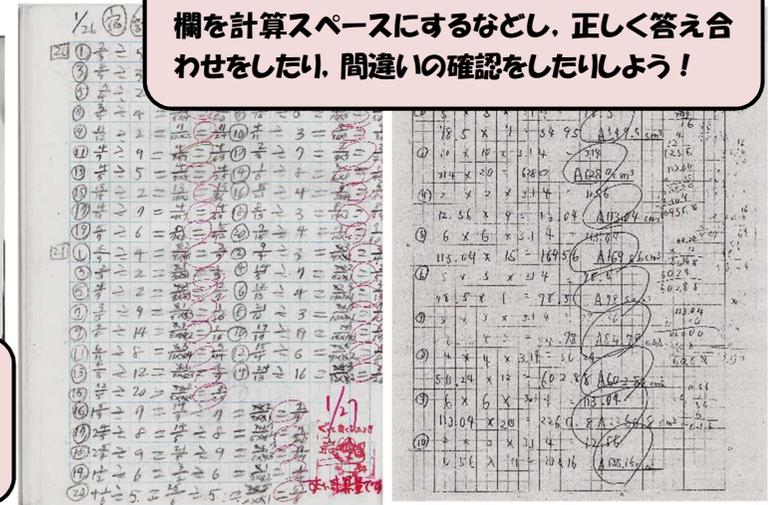
自主学習例 ～ H30, R1 5, 6年生の自学より～

1 ページでもこれだけできる！



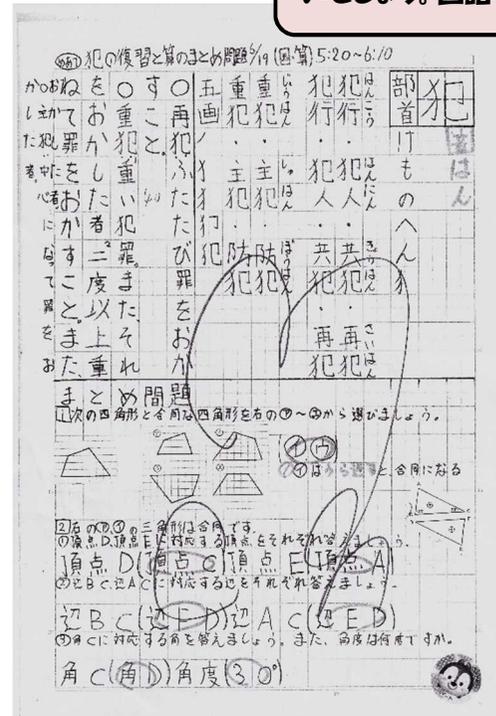
漢字→ドリルの新出漢字・教科書巻末にはたくさんの熟語が載っています。語彙力アップを目指そう！

計算→計算は丸付けまでが大切！ノートの端の欄を計算スペースにするなどし、正しく答え合わせをしたり、間違いの確認をしたいしよう！

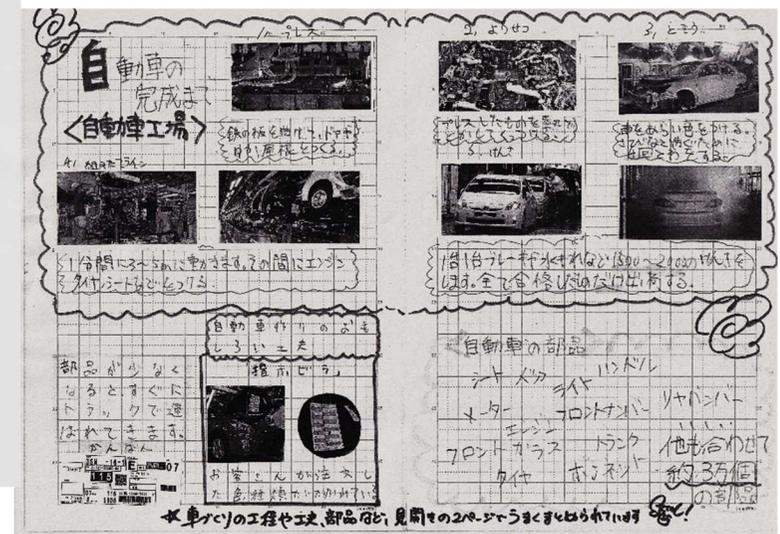


2 教科合わせ技

学校で学習したことをまとめよう。1教科でなく、2教科以上の学習をしてもいいでしょう。国語+算数、算数+英語、国語+社会など、組み合わせは様々！



見開きページでまとめよう



あとで振り返るときのために、見やすくわかりやすくまとめることは大切です。写真や数字、記号、矢印を使ったり、ペンで目立たせたいしながらまとめてみよう。見開きのページを使って大きくまとめてもいいですね！

